

新年のごあいさつ

代表取締役社長
長濱 好教



全員挨拶！ 明るく元気に 気持ちよく を届けます

皆さま 明けましておめでとうございます。
本年もよろしくお願い申し上げます。

早いもので、代表に就任しましてあっという間に1年が過ぎました。昨年は、北九州 市制 50 周年のフィナーレのイベント「北九州マラソン」の印象が強く残っております。小雨模様ではありましたが、お客さま・パートナーの皆さま・弊社メンバーとそのファミリー、多くの皆さまが“北九州”というチームとして参加され、力強い地域のエネルギーを感じることが出来ました。その他にも弊社では、日々の歩数を競う「あるろく」へのエントリーや「100kmウォーク」、まつり起業祭八幡の「25時間ウルトラ駅伝大会」などに多くのメンバーが参加しました。歩くこと・走ることがみんなのDNAになりつつあることを誇りに感じています。これからも益々歩く・走るの輪を広げて、皆さまと楽しみながら健康の軸を太く強くしていきたいと思えます。



25時間ウルトラ駅伝で、
五輪出場の君原さんと並走する長濱



笑顔の 100kmウォーク 参加メンバー (スタート前)
2015年は長濱も??

さて、本年はひつじ年です。ヒツジの干支の由来は、家族の安泰と平和の象徴とも言われています。特に家族の安泰にしっかりと取組み、メンバーと家族のしあわせをサポートすることで、この倅せをお客さま、パートナー、そして地域の皆さまにもお届けしたいと思います。

昨年の年初に、創業 50 周年に向けて 2 つのお約束をいたしました。

- お客さまとの率直なコミュニケーション活動を愚直に行って参ります。
- より深い、広い、新しいお客さまビジネスへの貢献を目指して参ります。

お客さまにお会いするたびに、メンバーが着実にこの“お約束”を実行していることを感じられるようになってきました。本年は、つぎのお約束を加えさせて頂きたいと思えます。

- いつも明るく元気に挨拶する、気持ちの良いパートナーであり続けます。

来たる創業 50 周年に向け 3 つのお約束を実行しながら、皆さまとともに進んで参りますので、今後とも変わらぬご愛顧とご指導賜りますようお願い申し上げます。



価値ある提案を目指して

取締役 常務執行役員
松岡 信行 (営業統括担当)



旧年中は格別のご厚情を賜り、心より御礼申し上げます。
昨年4月からの弊社中期計画（3年）の中で、私は、
「常に学びの姿勢を忘れず、自らの可能性を信じ、変わることを
恐れず、創造性を発揮し、より高い目標に向かって挑戦し、
お客さまと共に成長していきたい」という思いから、

「C (Change) ・ C (Challenge) ・ C (Create) 」という活動方針を立てました。

お客さまにとって価値あるご提案をするためには、お客さまの現状をもっと貪欲につかみ、
仮説検証型アプローチによって、お客さま自身も気づいていないような問題提起をしていくこ
とが必要であると考えます。そのために本年は、私自身、お客さまと直接会話させて頂く機会
をさらに多く持ち、私を含めた営業・SEチームメンバー全員で、様々なレベル・状況の接点
情報をタイムリーに共有します。そして、お客さまとの接点を「点から面へ」と変化させ、
チームとしての一貫性を持った提案活動に繋げてまいります。

本年もご指導の程、よろしくお願い申し上げます。



真ごころのコミュニケーション

執行役員 事業部長
重岡 徳史 (第1SI&S事業部)



新年、おめでとうございます。

昨年はたいへんお世話になり、厚く御礼申し上げます。

今年は「年男」。これまで30有余年の社会人生活の中でも、
記憶に残る「一年」にしたいと考えています。

昨年、いくつかのプロジェクトで着実に推進できない状況が
発生いたしました。その多くはお客さまとのコミュニケーション
不足に起因するものでした。お客さまの考え・想いをていねいにお聞きし、私どもの想いを
きちんとお伝えするということがうまくできず、結果的に、お客さまの業務負担を増大させて
しまうなど、ご迷惑をおかけしてしまい、改めて、お客さまとのコミュニケーションの大切さ
を痛感いたしました。

今年はこれらの上に鑑み、私自身の目標を「お客さまとのコミュニケーションをこれまで
以上に愚直に行う」こととします。そしてこの活動が、お客さま、パートナーさまや社員に
とって、有意義なものとなるように取組んでいきたいと思っております。

今年もどうぞよろしくお願い申し上げます。



いつも明るく元気に！

理事 事業部長
野田 清文 (第2SI&S事業部)

謹んで新年のお慶びを申し上げます。

弊社では、「元気が溢れて活力ある職場にする」「人間関係をより良くし働きやすい職場にする」を目的に、2012年度より各部で始まった朝礼を現在も続けています。特に、昨年の4月からは本社のワンフロアーに営業、ソリューション、サービスが集結したこともあり、在籍者全員で行っています。



まずは、当日の司会の掛け声に合わせて、「おはようございます」で始まる5つのご挨拶をCall&Response形式で大きな声で唱和し、当番の社員が「感謝」のテーマでスピーチを行い、最後は司会の「今日も1日頑張るぞ！」の声に「おー！！」で締めるといった内容です。ベタなことではありますが、朝から元気になり、相互理解も深まるといった効果を生んでいます。

本年は、さらにこの朝礼の目的に、「お客さまにいつも明るく元気をお届けする！」を加えて朝礼を進化させるとともに、私自身も明るく元気な挨拶を皆さまにお届けしたいと思います。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。



ITで活力のあるまちに貢献

理事 室長
大岡 肇子 (環境SOL推進室)

あけましておめでとうございます。昨年、環境未来都市北九州が目指す「人が輝く、賑わい・安らぎ・活力のあるまち」に基づき、Initiative 7の「環境」のスコープを大きく拡げて、リニューアルをいたしました。私は、その中でも、まず「健康」をテーマに、運動や食事などの生活習慣改善をITでサポートする、弊社社員の健康維持向上活動にトライアルいたします。



従業員の健康は、もう個人だけの問題ではなく、病気で従業員を失うリスク回避や医療費削減など、企業の重要な経営課題であり、企業による従業員の健康管理が不可欠な状況になっています。

「先ず隗より始めよ」で、先ず弊社が社員の健康改善を実現し、その活動の成果やソリューションを、皆さまにもご紹介させていただければと考えております。どうぞご期待ください。

明るく元気に活動するためには、健康第一です。今年も環境未来都市北九州にITで貢献できるよう頑張っていく所存です。

本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。





◆JBグループ 中堅社員交流会 in 北九州

11月13日、J Bグループ内でシェアード・サービスを展開している C&C ビジネスサービス株式会社（以下、C&CBS）より 10名（団長：代表取締役社長 高橋正孝さん）が来社し、弊社スタッフ部門と中堅社員交流会を行いました。今回の交流会では地場に根差した弊社の活動をより深く理解してもらうため、“北九州市環境未来都市”の取組みを知る見学コースと一緒に回りながら、コミュニケーションを深めました。



北九州市響灘地区にある太陽光パネルの
まゝで記念撮影

午前、八幡東区東田地区（東田第一高炉跡、環境ミュージアム）を見学。世界遺産登録を目指す「九州・山口の近代化産業遺跡群」の一つ“東田第一高炉跡”で、2 Fの歴史・沿革パネルにある当時スーパーだった数十年前の弊社社屋の写真を紹介したところ、みんな大変驚き、その後弊社に戻って面影の“柱”を感慨深く見入っていたのが印象的でした。

午後は、“次世代エネルギーパークの見学コース（次世代エネルギーパーク～NSウィンドパワーひびき～市民太陽光発電所）”を回り、最先端の取組みを実感してもらいました。

今回の交流会でお互いが刺激を受け、コミュニケーションを密にできたことで、今後更なる業務効率と品質向上が図れ、より良いサービス提供へ結びついていくものと期待しています。

◆秋のパワーアップ・フォーラム（プロジェクト成果発表会）

11回目となるパワーアップ・フォーラムを、第1SI&S事業部・熊本司会のもと開催しました。今回は、初めて二部構成とし、前半は“3Dプリンター&3Dスキャナーの紹介とデモ”を実施したところ、その3Dプリント技術に多くの社員が興味をもったようです。後半は、今後のビジネス展開に積極的なスタンスで取組むことを目標として、開発プロジェクトに関する発表だけではなく、営業寄りの発表も行いました。

発表会の最後は、C&CBS 取締役執行役員 秋元ひとみさんによる「J BグループCSR委員会の取組みについて」と題したゲストスピーチです。スピーチでは、J Bグループ全体のISO14001認証機関である（株）日本環境認証機構（JACO）さま主催の“ISO友の会”で講演した内容をベースに、



様々な取組みにおける実体験が臨場感たっぷりに再現され、聞いているこちらもまるで一緒に活動しているような感覚で聞き入りました。今後、社員がもっと積極的に、CSR活動に取組んでいくことと実感しました。

（事業管理）



お客さまの期待・信頼に応えていきます！

皆さま、こんにちは！ 第2開発グループの屋形です。

私たちは、九州、中国地区において、環境分野・製造分野を中心に、多種多様な業種・業態のお客さまに対しまして、システム開発や保守を行っております。

当グループは、開発や保守で培った経験・信頼をもとに、お客さまの業務改善・効率化やサービス・品質向上など、お客さまの立場でのご提案・ご支援をしております。

最近『 現行システム資産を活用したマイグレーション 』『 OSS(※1)を利用した基幹システムの全面刷新 』『 パッケージと独自開発(スクラッチ)を併用した業務最適化 』『 専門的な知識と開発経験を集約したテンプレート開発 』などを推進しております。

当メンバは、気持ちは30代で、バイタリティに富んでおり、クラウドなどの最新情報・技術を積極的に収集・習得し、ご提案時にそれらを織り交ぜ、お客さまの業務最適化の一助となるよう努めております。

今後も、お客さまのご期待・ご要望にお応えするサービスをご提供し、お客さまの成功への貢献を目指していきます。

(※1)オープンソースソフトウェア



正池、松岡、中元、古賀、柳楽
今園、小迫、屋形、有吉

(第2開発グループ 屋形貴晃)

メンバー紹介

～ 去年は、嬉しい忙しさが続きました。
そこで、ひと息、今年のプライベートの願望を！！ ～

- 小迫 清 : 100Km歩いてても壊れない身体に改造したい。
- 屋形 貴晃 : お客さまから「太ったね」と…。身体も私(仕)事もスリム化を図っていきたい！
- 古賀 広幸 : 2014年は九州を脱出できず。2015年は少し遠くに旅行に行きたい。
- 正池 彰 : 今年は体力アップを図り、世界遺産の富士山、屋久島の登頂を目指します。
- 中元 浩貴 : 大型バイクの免許取得とツーリングの為に体力UPを実現します。
- 松岡 泰司 : 今年はJava認定試験に合格し、Javaスペシャリストとして成長したい！
- 柳楽 英光 : 去年は何かと忙しかったので、のんびりと旅行する余裕を持ちたい。
- 有吉 芳子 : 今年こそ！仕事の効率UPで早めの帰宅。平日の愛犬の散歩を復活 =^_^=
- 今園 由美子 : 少し子離れをして、自分の時間を持ち、英語の勉強を始めたいです。



幸せを守るために必要なもの

新しい年、私はいつも初詣で「家族が健康に過ごせますように」とお祈りします。子供たちには、人生の楽しく大切な時期を元気に過ごしてほしいと思いますし、そんな子供たちを支えるため、親である私たちも、常に健康でいなければと、気持ちを新たにします。



弊社では、健康診断を毎年春に行います。どんな会社でも同じ、何の変哲もない行事だと思っていたのですが、十数年前、先輩社員の話を引きかけに、健康診断に対する私の認識はがらっと変わりました。

「胃透視の待ち時間が長いなと思っていたら、“ソルネットさんは、胃透視で撮る写真の枚数が多くて、それで時間がかかってるんです。ここまでやる会社は少ないですよ。”って教えてもらったよ。うちの会社って、意外と社員の健康診断に力を入れてくれてるんだね！」

健康診断にも実はさまざまなコースがあるということ、また、弊社では通常コースよりも少し検査項目の多いものを選んでくれているということ、私たちはその時初めて知ったのです。まるで、思いもよらない人から、突然素敵なプレゼントをもらったかのような嬉しい驚きで、みんないっせいに、明るく幸せそうな表情になったことが、とても印象に残っています。

健康診断の結果が届く頃は、メンバーの不摂生を心配して真剣に注意している人や、親身に相談に乗っている人が、職場のあちこちにいます。会社が社員の健康をサポートしているだけでなく、社員同士も、お互いの健康を日ごろから支え合っているのです。その様子はほとんど家族と同じで、お互いを思いやる真心があふれ、見ていて温かい気持ちになります。

「健康」とは、自分と自分の大切な人たちの「幸せ」を守るため、なくてはならないものです。今年はさらに、家族と、仲間たちと支え合って、しっかりと「健康」を育み、この「幸せ」の輪を、お客さまへも大きく広げていきたいと思えます。

(Y.Nishino)

編集後記

正月七日の七種(ななくさ)、小正月の小豆粥。いずれも、新年に行われる古くからの風習です。こうした四季折々の行事の度に、栄養価・鮮度ともに良い状態にある旬の食材(ご馳走)を頂くことで、ココロとカラダが元気であるように…と願っていた先人たちの知恵に感謝しつつ、本誌でも弊社の“旬”を、元気よく皆さまにお届けしたいと思います。

(K.K)

